



平成23年11月4日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 経営企画部長 村上 明彦
(TEL 0584-93-0110)

中期経営計画「OCEAN-15」に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期を最終年度とする中期経営計画「OCEAN-15」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

昨年、創業80周年の節目を機に、創業100周年に向けての一里塚として、10年先を見据えた長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」を策定しました。

長期ビジョンは、「CSR」を経営の最重要課題と位置付け、「5つの“シンカ”」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上を目指しています。自動車産業を取り巻く6重苦と環境対応次世代車開発などの経営課題を実効するためのアクションプランとして、2015年に向けた中期経営計画「OCEAN-15」を立案しました。

2. 中期経営計画の概要

「トップクラスのグローバルな部品メーカー」を目指して、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSRと環境保全」をキーワードに「OCEAN-12」を改訂し、長期ビジョンの達成に向け「5つの“シンカ”」を具現化し、事業構造の革新と企業価値向上を目指しています。

3. 2011年度業績予想と2015年度の目標

	2011年度業績予想	2015年度の目標
連結売上高	750億円	950億円
連結経常利益率	5.1%	6%
海外売上高比率	33.6%	40%

以上

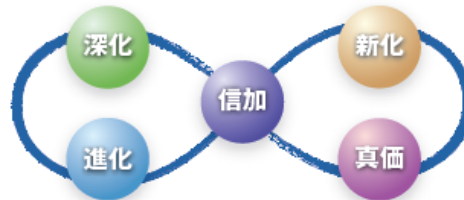
この資料における当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることや、予告なしに変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」

長らく不況の中、自動車産業の急激かつグローバルな構造転換、地球規模の環境問題・エネルギー問題、企業の社会的責任、グローバル化・技術革新など、我々を取り巻く環境は、予想をはるかに越えるスピードで大きく変化しています。こうした環境変化を大きなチャンスと捉え、創業80周年の節目を機に、創業100周年に向けての一里塚として、これからの10年を見据えた長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定し、私たちグループの夢とミッションを明確にしました。

「長期ビジョン」は、CSRを経営の最重要課題と位置付け、「5つの“シンカ”」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上をめざしています。



5つの“シンカ”

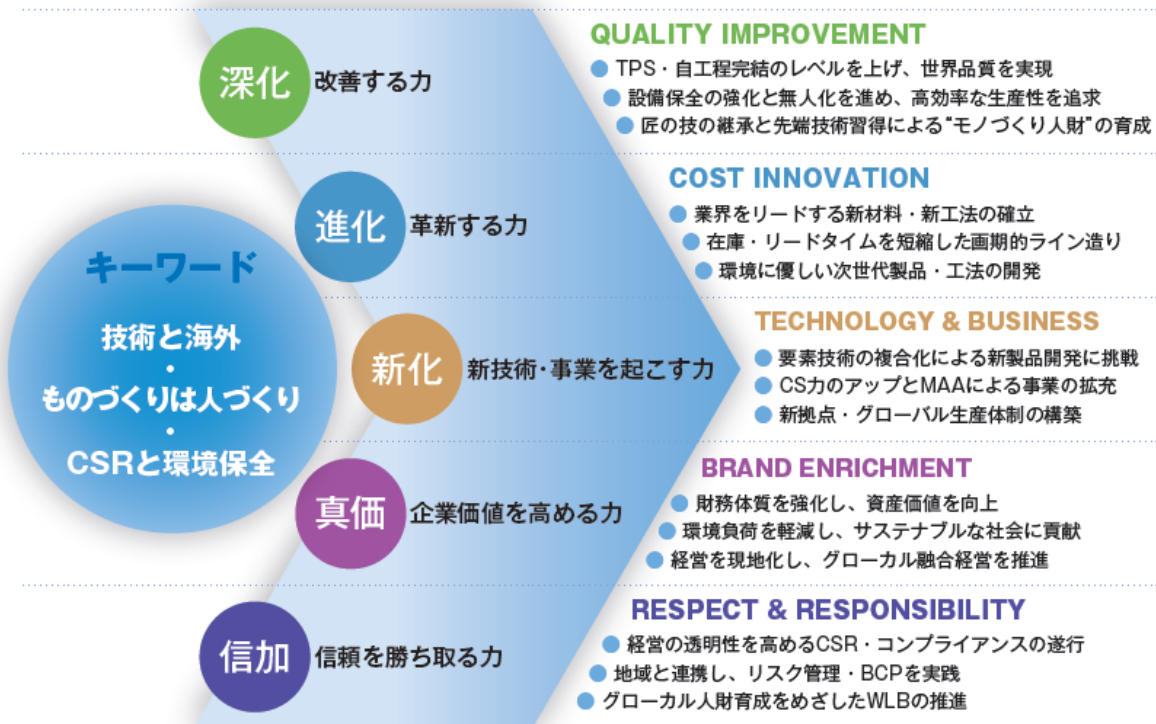


CSRのトライアングル

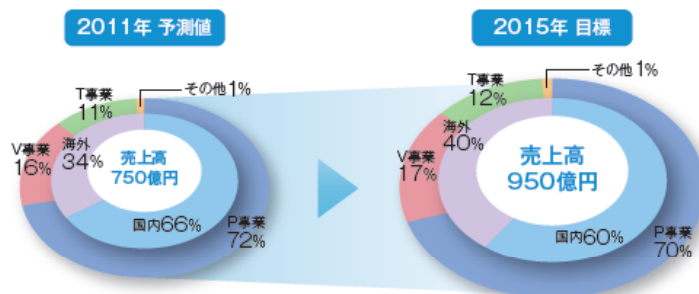
中期経営計画「OCEAN-15」

長期ビジョンの確実な実効をめざし、2015年の事業のあり方を明確にするため、「OCEAN-12」を「OCEAN-15」に改訂しました。

トップクラスのグローバルな部品メーカーをめざす



TPS…Toyota Production System MAA…M&A, Alliance BCP…Business Continuity Plan WLB…Work Life Balance



2015年 目標

連結売上高 : 950億円
連結経常利益率 : 6%
海外売上高比率 : 40%

P事業 …プレス・樹脂加工
V事業 …タイヤバルブ・空調バルブ
T事業 …TPMS (タイヤ空気圧監視装置)